

簡易的陰圧装置について<コロナ感染対策>

ゆうゆうホームでは、コロナ感染者が発生した場合を考え、簡易陰圧装置である、空気感染隔離ユニットミニティECU4を導入しています。利用者様、ご家族様を第一に考え職員一同日ごろから感染症対策マニュアルを徹底し安心・安全に取り組んでいます。

効果について

陰圧とは、物体の内部の圧力が外部より低い状態のことを指します。
陰圧装置とは内部の空気圧を外部より低く調整できる機材のことです。
空気は圧力の高いほうから低いほうに流れるため、部屋の中の空気圧が部屋の外より低くなるように管理され、ウイルスなどが部屋の外に漏れることを防ぎます。よって感染源の拡散を防ぐ効果を果たします。
簡易的に設置する事ができるため隔離空間をスムーズに作る事ができます。



— 職員の学びの紹介 —

介護プロフェッショナルキャリア段位制度への取り組み

ゆうゆうホーム 副施設長 長田敦志

ゆうゆうホームでは、介護職員のスキルアップ、キャリアアップに力を入れています。キャリア段位制度とは、実際の介護現場で何ができるのか、介護職員の「わかる（知識）」と「できる（実践的スキル）」の両面を評価し、レベル認定を受けるものです。「根拠に基づいた介護マニュアル」を軸に、統一したケア、質の高いケアを目指し取り組んでいます。ゆうゆうホームでは、すでにレベル認定を受けている職員が10名おり、更なるレベルアップを目指しています。「レベルの高い介護職員がいる施設を利用したい」と思ってもらえるようこれからも日々努力していきます。



<新人研修風景>



<車いすの取り扱い、移乗動作の研修風景>



お部屋への訪室の仕方、声のかけ方、専門的な技術としての移乗など、148項目を勉強しています。新人教育でも必ずキャリア段位制度における、「根拠に基づいた介護マニュアル」を研修します。

ゆうゆうだより



医療法人 金上仁友会

介護老人保健施設 ゆうゆうホーム

令和3年11月発行

ゆうゆうホーム東側のバイパスのイチョウ並木通りは見事に黄金色のじゅうたんに輝き、秋の深まりを感じるすばらしい風景です。リハビリの散歩、そしてドライブと道行く人の心にやさしく落ち着きを感じさせられます。コロナ禍での生活も少しずつ制限がゆるやかになり、普通のホームの活動も始まりつつあります。ゆうゆうホームでのケアの質の向上への取り組みについてご紹介致します。リハビリを中心に専門職の連携により日々の生活が生き生きと送れるように、特に必要な機能の維持回復を目指しております。利用者様の皆さんと共に楽しくリハビリを通して自分らしい生活が出来るようなケアを個別に支援しております。ホームの様子をご紹介させていただきます。ご家族様の皆さんにも話題にいただきまして、励ましのご協力をお願い致します。

— 小さい秋見つけた —



<あっ銀杏みつけた>

静かな秋のひととき
本との出会いに
なつかしい思い出に!

<外の空気をいっぱい>

訪問リハビリ

訪問リハビリとは、国家資格を持つリハビリ専門職が利用者様のご自宅へ訪問し医師の指示のもと、リハビリを実施する事です。単なる身体機能の維持・向上だけではなく、歩行訓練や排泄動作、入浴動作、家事動作、外出訓練など、実際の在宅生活に直結した動作や社会参加の促進を行えるようにリハビリを行ないます。



ご自宅の環境で訓練することができます

介助方法も丁寧に説明します



こんなお悩みを抱えていませんか？

入院したことがあり、体に衰えを感じている…
長い間、体に障害を抱えている…
転ばないように生活したい…
食事や入浴のことで相談したい…
病気の家族を、どう介助していいかわからない…
ご相談お待ちしております！

訪問リハビリテーション長 佐藤義則

通所リハビリ

通所リハビリ(デイケア)とはリハビリ専門職の他に医師、看護師、介護福祉士、管理栄養士、歯科衛生士などの国家資格を持つ専門職がいるゆうゆうホームに、通所リハビリをすることです。毎日生き生きとした生活が送れるように必要な機能の維持回復訓練や日常生活動作訓練、他者との交流を含めリハビリを行ないます。デイサービスと違い医師から医療的ケア、リハビリについての指示が得られ、多職種間での会議を元に方向性を検討し充実したリハビリが行えます。



専門職によるリハビリ
(一人一人メニューは異なります)



趣味活動の実践



マシン器具を使ったトレーニング



口腔ケア指導



自宅で車いす生活、ベッド上での生活の方をはじめ、自宅での生活に困っている方や若い世代でリハビリのみを利用したい方、1~2時間の短時間利用希望の方など幅広い方々からのご相談に応じております。また、退院、退所直後の自宅生活が不安な方々も通所リハビリでサポートします！ご相談ください。

通所リハビリテーション主任 渡邊慎太郎
デイケア介護主任 田原智美

日常動作のリハビリ ~起き上がり編~

○起き上がりって・・・。
いつもなにげなく行っている動作ができなくなると生活しづらくなります。こういった一つ一つの動作もリハビリ専門職が細かく丁寧に説明します。

一連の起き上がり(基本パターン)



自主リハビリ

<p>上肢のリーチ運動</p> <p>仰向けの状態から手を組み左右へ伸ばします。体重を左右へ動かす事で寝返りの練習にもなります。左右へ10回行います。</p>	<p>おしり上げの運動</p> <p>仰向けの状態から膝をついて、図のようにおしりを上げます。10回行います。</p>
<p>足の外転運動</p> <p>仰向けの状態から図のように足を横へ動かします。片方ずつ行います。左右10回ずつ行います。つま先が天井へ向くようにするのがポイントです。</p>	<p>頭上げの運動</p> <p>仰向けの状態から膝を立て、図のように頭を上げます。10回行います。自身のおへそを見るようにするのがポイントです。</p>

【効果】

寝返りや起き上がりがスムーズに行えるようになります。その他にも立位姿勢や歩行なども安定してきます。皆さんもできる範囲で行ってください！